

SSKP

# 船橋障害者自立生活センターニュース

2000年4月10日発行 第33号



編集:船橋障害者自立生活センター事務局

〒273-0011 船橋市湊町1-6-12

郵便振替「00140-9-609088」

TEL: 047-432-4554 FAX: 047-432-4565

URL: <http://www02.u-page.so-net.ne.jp/wb3/wave-fil/>

E-Mail: [wave-fil@wb3.so-net.ne.jp](mailto:wave-fil@wb3.so-net.ne.jp)

## 第9回定期総会のお知らせ

季節はいつのまにか春真っ盛り。何をすることも気持ちの良い季節になりました。

新年度を迎え、私たち事務局スタッフ一同も気分も新たに毎日の活動に追われています。今年度は事務局スタッフの入れ替わりがあり、新しい顔ぶれでのスタートとなりました。

今年度も、公的な介助制度を求める運動やNPO法人格の取得など、たくさんの課題に取り組んでいかななくてはなりません。

そうした状況をふまえて、センターの今年1年の計画について議論していただくために、下記の要項で定期総会を開催することになりました。

会員の皆さんには、返信用の葉書を同封しましたので、必要事項をご記入の上5月10日までにご返送いただきたいと思えます。

是非たくさんの方々のご出席をお願いいたします。

### 記

日時: 5月28日(日)午後1時半～4時

場所: 船橋中央公民館 第2会議室

# 訃報

## 小菅浩一君が亡くなりました

悲しいお知らせです。当センターの会員で、自立生活プログラムやピア・カウンセリングなどに積極的に参加してくれていた小菅浩一君が、去る三月一日、亡くなりました。

明るく、誰からも好感を持たれる人柄で、「近く船橋に移り住んで自立生活を始めるんだ」と張り切っていた矢先で、若手のホープとして次代を担ってくれるものと期待していただけに、とても残念でなりません。

昨年の自立生活プログラムに参加した後で、小菅君から届いたお礼のEメールの一部をご紹介します。

いろいろとありがとう。  
いくら感謝してもたりないぐらいです。  
今回プログラムに参加できた事で輝きを取り戻した感じです。  
この数年、自分は何も出来ない人間で、働きたいと考えても、車を運転する事も出来ない役立たずで世の中の同年代に置いていかれているからといって生きる事が嫌になってあきらめかけていた。でも、みんなに会えた事で、あきらめないでいいという事が分かったし、あきらめないでよかったと思ったよ。これからは働きたい障害者から働く障害者になること、自立生活を目標にあきらめず頑張って楽しく人生を楽しみたいと思います。  
みんなありがとう。これからもよろしく。

小菅浩一

彼は車が好きで、船橋で本格的な移送サービスを始めることを夢見ていました。

いろいろな意味で志半ばで逝った彼の無念さは察するに余りあります。

これからもがんばって、自立生活のうねりを大きくしていくことが彼に対して私たちが出来る供養と考えています。

心からご冥福をお祈りします。

本を二冊出版しました

「翼よはばたけ」と「船橋バリアフリーガイド」

## 自立生活プログラムのお知らせ

船橋自立生活センター

自立生活プログラム担当

石栗、山澤、山本

季節が春になり、日を追うにつれて暖かくなっている今日この頃ですが、いかがお過ごしですか。さて、今回は自立生活プログラムのお知らせをしたいと思います。自立生活プログラムとは、地域で自立する時に知識やノウハウをともに考え、実行して行くプログラムです。今年になって自立を考えている人、もう自立をしているけど、なところ  
が困難に感じている人、「自立なんか俺には出来ねえ」と思っている人、障害をもって  
いれば誰でもかまいません。私たちとともに自立について考えて、ともに実践してみ  
ませんか。あなたたちの参加を心からお待ちしております。

### 記

\*参加定員 8名(リーダー、サブリーダーを除く)  
<なお、定員になり次第締め切らせていただきます>

#### \*参加条件

- ・障害をもっている人
- ・自立をしている人、自立を考えている人

#### \*その他

- ・受講料は無料ですが、それ以外の経費は自己負担です。(例：交通費など)
- ・介助者は原則として連れてきてください。もし、無理な場合はセンターに相談してください。有料介助派遣サービスがあります。(1時間につき900円)

### 自立生活プログラムの日程

回数	月日	時間	内容
1	5月10日 (水曜日)	13:30~ 16:30	自己紹介
2	5月17日 (水曜日)	13:30~ 16:30	自立をすることって...?自立を した人たちの話を聞こう
3	5月24日 (水曜日)	13:30~ 16:30	前回の話を聞いての感想 フィールドトリップの打ち合わせ
4	5月31日 (水曜日)	スタッフで決 めます	フィールドトリップその1

5	6月7日 (水曜日)	13:00~ 16:30	介助者との関係について
6	6月13日 (水曜日)	13:00~ 16:30	自立したらお金はどうなる その1:年金について
7	6月20日 (水曜日)	13:00~ 16:30	自立したらお金はどうなる その2:生活保護について
8	6月27日 (水曜日)	13:00~ 16:30	自立したらお金はどうなる その3:他人介護料について
9	7月5日 (水曜日)	10:00~ 16:30	料理を作ってみよう
10	7月12日 (水曜日)	13:00~ 16:30	さあ!外出だ。準備をしよう (外出計画)
11	7月19日 (水曜日)	みんなで 決めよう	フィールドトリップその2
12	7月26日 (水曜日)	13:30~ 16:30	終了パーティー

4、9、11以外は女性センターを予定しておりまして、4、9、11に関しては  
おって場所を連絡します。

なお、日程・会場は変更する場合があります。

#### 新しく介助コーディネーターになって

石栗 利之

このたび、今年から介助コーディネーターになりました、石栗利之です。介助コーディネーターは、渡辺さんが一生懸命探し、喜多さんが事務処理をするというイメージが私の中にありました。しかし、残念ながらもう彼女らはいません。私と同じようにやるよりもどのように介助派遣を運営していくかを介助者、利用者、コーディネーターの3点から考えてより良い派遣システムを作りたいと思っています。私1人で何から何まで考えて行動していこうとは思いません。みんなの知恵を貸してください。みんなですばらしいシステムを作っていきます。それではよろしくお願ひします。

## 特別連載

## 私らしい生活の実現を目指して(9)

渡辺 由美子

## 私生活も自立生活志向

私自身は、生まれてから三十年両親の庇護の下で、母の全面的な介助協力を得て日常生活をしていました。しかし父が六十才を過ぎ、父方の八十才を過ぎた祖母が、同じ敷地内に今は元気で身の廻りの事は一人でやっていますが、同居している事を考え、祖母も介助が必要となった時に、母一人では要介助者二人を絶対支え切れなれないと思います。それに母自身がもう少しで還暦になる状況を思う時、自分自身もこのままではいけないという焦りがあります。自分自身が一日も早く本当の自立生活が可能な人的ネットワークを作らなくてはと切実に思っています。

その第一歩として、昨年十月から、家庭内別居状態の自立生活に自らチャレンジし始めました。以前に働いていた福祉作業所の仕事を手伝ってもらっていた、女性の大学生のボランティアさんたちを中心に両親と一緒に住み続けながら、今まで通りの私の部屋へ介助に来て頂いて、毎晩交代で泊まり介助をしてもらい、身辺介助全般を支えてもらう形の自立生活を試みています。「初めまして、こんばんわ」といって、家に来るまで顔もわからない人と毎日一夜を過ごします。数時間後にはいきなり裸になって全身を洗ってもらう、それが私のリアルな生活の姿です。

心の優しい純粋な人が多いですが、学生という年代の若さゆえ、丹念にコミュニケーションしないと、自分から気が付いて何かをしてくれるという訳にはなかなかいきません。楽しい人もいて、めっちゃめっちゃ明るくテンションが高いと、ついていけないこともあります。私より年上の方は、自分なりの介助に対する思い入れがあり、手足に徹することが難しい

人もいます。アドバイスをしているつもりなのですが、私らしい自己決定にもとづく生活の実現の時には、面倒くさく思う時もあります。普通の生活形態では、初めてあった人といきなり風呂に入ったり、泊まったり、食事をしたりみたいな事は、考えられない事でしょう。ストレスにならないといえは嘘になります。この介助者が公的なものであれば、心理的なストレスは大いに違うのではないのでしょうか。それでもこの生活が継続すれば、私にも二十一世紀の明るい未来があるのかもしれませんが、日々いろんな人に身体を抱えてもらうわけですが、「たまにはカッコいい男性に別の意味で抱き締められてみたい」、そんな願望はまだ実現されていませんが、男の人に抱えてもらうと、こんな事を言ったら抱えてくれる人がいなくなってしまうかもしれませんが、こんな障害持ってラッキーだと内心思い、「そんなに早く降ろさないで、もうちょっと抱えていてほしいなあ」と思う時があります。

でも、そんな事ばかりでもなく、初めての介助者とタイミングがうまく合わず、私が重いという根本的な問題もあり、ずり落ちたり、介護者の上にのしかかった様になり、にっちもさっちも行かない状態を招いてしまう事も日常茶飯事です。私はずり落ちたり転んだりする事に慣れてしまっているのですが、介助者はびっくりしてしまい、泣き出す純粋な人もいます。転んだ事よりも泣いてしまった事の方に、私はどうして良いかわからなくなり、困惑する事が多々あります。設備的にも不十分で、とても真の自立とは言いがたい日常ですが、この状態をとりあえず継続しながら発展させていきたいと考えています。こちらもひたすら電話をかけて人を探し、毎日が

やっと送れているのです。名簿上では沢山仲間がいる様ですが、いざとなるとなかなか都合がありません。学生さんは関われる期間が短いので、常に大学の福祉系サークルと交流し、新しい人材を開拓し続ける努力を続けていかななくては、生活そのものがだめになってしまいます。特にテスト期間は皆無理です。季節毎の長期お休みは帰省で人が

いません。私の生活を休む訳にはいきません。このお正月は両親と過ごしてしまいましたが、この辺りが今後の大きな課題として残っています。しかしながら悲観ばかりしていても仕方がないので、仲間と共にこれからもできそうな事から積極的に取り組み、楽しく充実した日々を公私ともに過ごして行こうと思っています。

## 私のゆめ

私の夢は、あくまでも夢ですが、結婚という意味ではなくてもパートナーを見つけることです。この言葉の意味は、私は広い意味で捕らえています。毎日ずっと一緒ということだけでなく、私のものの考え方、生き方、欠点まですべて理解し、同じ方向を向いて長年歩み続けてくれるブレンのような存在の人を作ることです。そして、自分の精一杯の生き方を花開かせ、年を取って、こんな体であったけれども、生きていて本当に良かったと思って死ねる人生をまっとうしたいと思いま

す。それには、自分が本当に何をしたいか、今やっていることが本当にこれでいいのか尋ね続け、一定の結論を出して、方向をそろそろ本気で定めなければなりません。

その私の思いを一言でいうならば、人としての魅力をかもしだせる人間になりたいです。

人の魅力はどこから来るのか、それを考えて行く事がこれからの私の課題です。

## 事務局だいあり～

1/4	仕事始め・関係機関挨拶回り
1/6	連合新年会
1/7	事務局会議
1/10	ピア・カンパリング 長期講座
1/11	社協賀詞交換会
1/13	市役所労働組合新年会
1/14	事務局会議
1/17	ピア・カンパリング 長期講座
1/21	事務局会議
1/24	ピア・カンパリング 長期講座・機関紙発送
1/27	「太陽」見学
1/28	事務局会議
1/29	障労連千葉新年会
1/31	ピア・カンパリング 長期講座
2/4	事務局会議
2/4	市長面談
2/5	介助制度シンポジウム
2/10	事務局会議
2/13～16	J I L 所長セミナー
2/16	誠光園見学
2/18	事務局会議
2/19	大穴北小学校福祉授業
2/25	事務局会議
2/26	森山幹夫講演会
3/2	小菅家弔問
3/3	小菅君通夜
3/6	業務点検(ピアカン)
3/10	内部研修
3/16	浦安ドリームセンター見学
3/17	事務局会議
3/22	春の集い
3/23	ボランティア養成講座
3/24	事務局会議
3/31	事務局スタッフ送別会

<編集後記> 年が変わったからといって、現実には何かが変わるわけでもないのに、時間に区切りをつけて一種の気分転換を図ろうとするのは人間が身につけた生活の知恵でしょうか。それにしても、隙間だらけの事務所は寒いなあ。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21  
 障害者定期刊行物協会  
 頒価 100円

## 平成 12 年度自立生活プログラム参加申込書

ふりがな  
氏 名

年 齢 歳

住 所 〒

電話番号

障害名 ( 級 種 )

あなたの使っている補装具は

( 該当するものにマルをしてください )

電動車イス 手動車イス 杖 白杖

その他 ( )

申し込み締切日は5月8日です。

\*何かわからない点がありましたら以下のところまで連絡下さい

< 連絡先 >

T E L 047-432-4554、 F A X 047-432-4565

船橋障害者自立生活センター 担当 石栗・山澤・山本

### 会費納入のお願い

年度が変わり、事務局に新しい顔も増えて気持ちも新たに活動に精を出しています。総会のお知らせのところでも書きましたように移送サ・ビスという新たな事業も始まり、慌しさに拍車をかけています。

ただ、事業の発展に伴って財政規模も膨らみ、運営が厳しい状態は変わらずにつづいています。そこで、新年度草々のお願いで恐縮ですが、会員の皆さんには今年度の会費をお支払いただきたいと思います。同封の振込用紙をご利用の上お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員の方が年間3,000円、賛助会員の方が年間5,000円、団体が年間10,000円となっております。



## カンパのお礼

前号以降,以下の皆様より温かいカンパをいただきました。厚くお礼申し上げます。

(順不同)

### 《個人》

向井 徳豪様	春田 文夫様	小島 六男様	松下 英生様	小宮山 晃様
高梨 美知子様	仙波 恒雄様	武藤 克資様	福島 理恵様	深澤 彬様
高木 恒雄様	中山 洋子様	衛籐 筆子様	大久保 忠男様	小島 章様
村岡 久雄様	後藤 孝義様	桑折 勇一様	前田 満子様	千葉 満様
柴山 進一様	竹内 悦子様	土屋 智英様	永野 保司様	和田 和子様
関根 義雄様	渡辺 由美子様	塩野 剣士様	石栗 久子様	麓 佳正様
牧野 忠夫様	遠藤 すづ枝様	森山 幹夫様	土橋 光雄様	杉井和男様
小出 美知子様	谷口 伊三男様	岩瀬 廣様	桜井 きみ代様	山本 様
青木 敏子様	佐藤 典代様	多田 長夫様	山崎 真弓様	中田屋 様
米本 桂様	塩谷 克己様	匿名		

### 《団体》

船橋市社会福祉協議会